

赤潮情報第35号

（八代海：シャットネラ、カレニア警報 続報）

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

シャットネラが0細胞、カレニアミキモイが1細胞確認。 引き続き嚴重な警戒が必要です。

本日、熊本県が八代海灣奥を調査したところ、カレニアが海水1mL 当たり**1細胞**、確認されました。シャットネラ属は確認されませんでした。ただし、天候や海況によって増殖する可能性がありますので、引き続き**嚴重な警戒が必要です**。（詳細は下図を参照してください）。

これらの種は有害で、魚介類がへい死することがあります。周辺海域で魚介類の養殖、蓄養等を行っている方は、海の色の変化や養殖魚等の状態に十分注意するとともに、餌止めや粘土散布等の対策を行ってください。

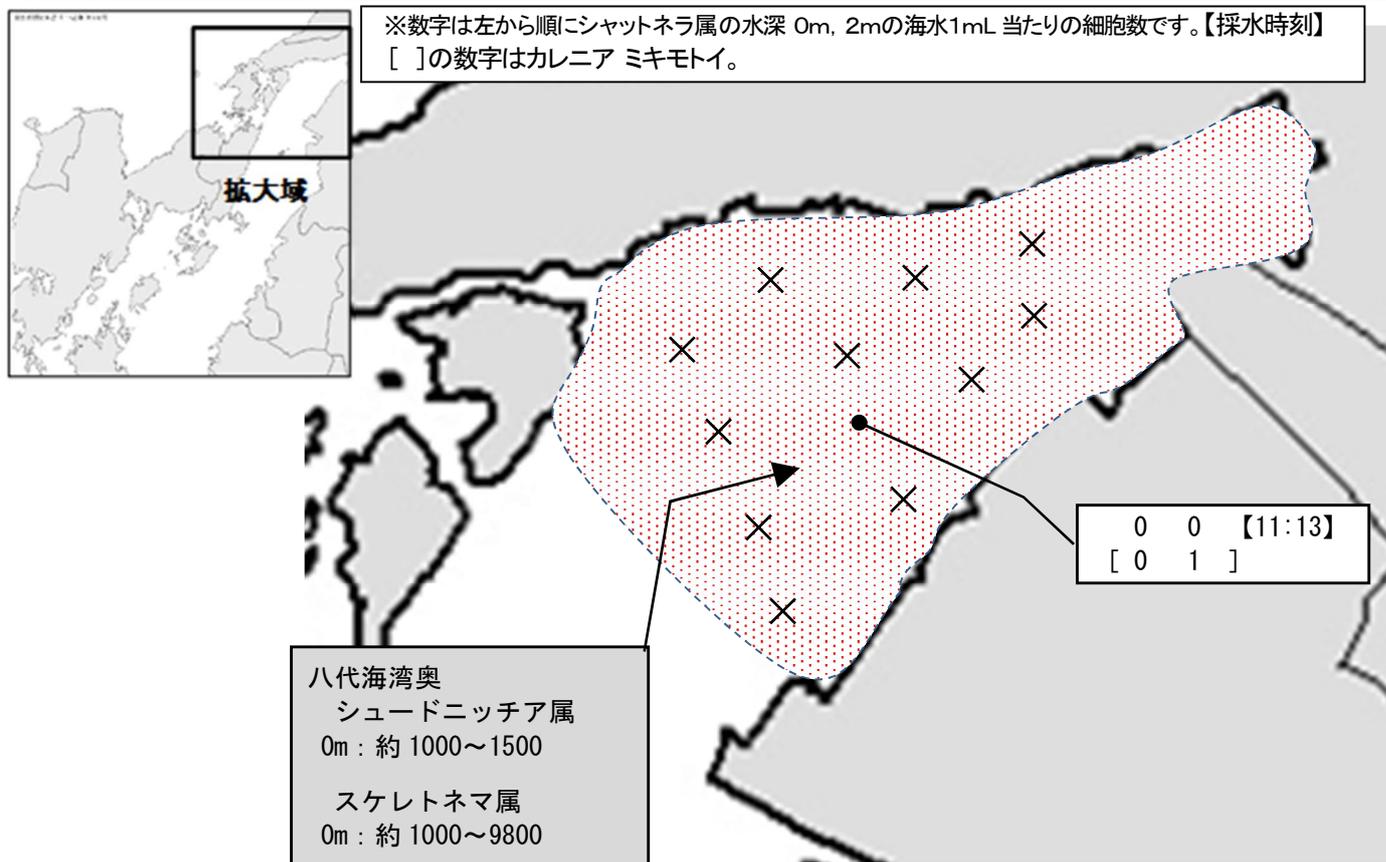


図 赤潮発生海域

※  はシュードニッチア属、スケルトネマ属や濁りによる着色域です。
※ ×印：全ての採水層でシャットネラ属とカレニアが0細胞

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください（ホームページの更新に時間を要する場合があります）。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1

赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット

